

経尿道的尿管碎石術を受けられる()様へ
入院中のスケジュールです
説明日(/) 説明者氏名()

STA1400080

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	
経過(病日)	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3～6日目	手術後7日目
達成目標	◇手術に対し理解できる ◇症状の苦痛が少ない ◇手術に向けて心身の準備・物品の準備 ができる	◇治療が安全・安楽に 受けられる	◇体温、血圧に問題がない ◇血尿がみられない ◇静脈血栓症症状がみられない ◇手術による痛みがコントロールできる			◇尿の管が抜けた後の 血尿や不快感がない	【退院基準】 ◇腎盂腎炎などの感染症を 起こさない ◇血尿の増強がない ◇水腎症や尿流の停滞をきさない
処置 注射・内服	抗生剤の点滴があります (医師の指示がある場合) 寝る前に、下剤を飲みます	朝、浣腸をします 2番目以降の手術の方は 朝から点滴があります 手術用の寝巻に着替えます 弾力ストッキングをはきます (血栓予防のため)	血栓予防のため、足にフットポンプ を装着します	朝、フットポンプを外します		医師の診察後、 尿の管を抜きます	
検査				レントゲン・血液検査があります			
活動・安静	安静の制限はありません	制限ありませんが、 なるべくお部屋に居てください	翌朝までベッド上安静です 頭は上げないで下さい 寝返りはできます	安静制限はありません			
安全	ナースコール、ベッド柵を設置します 転倒防止のため、運動靴の使用をお願いします	患者本人確認のため ネームバンドをします	転倒・転落予防のため ベッド柵を設置します ナースコールを設置します	転倒転落危険度の評価をします 初回歩行時は、看護師が 付き添います(転倒予防のため)	点滴や管が入っていますので、転倒しない ように注意しましょう		
栄養	食事は夕食まで可能です 水分は医師指示に従ってください それ以降は、絶飲食です	朝から食事も 水分も取れません	許可ができれば、水分をとる ことができます	朝食より食事開始となりま			
清潔	入浴してください	洗面をして下さい 男性の方は、 髭剃りもして下さい		看護師が身体拭きをします	主治医の指示が入浴できます であれば、シャワー に入れます		
排泄		手術前にトイレを 済ませておいて下さい	尿の管が挿入されます (便)ベッドの上で排泄	(便)トイレに行けます	膀胱の管が抜けます (状況によっては、管が抜ける日が 変わることがあります)		
説明・指導	病棟の案内、手術前オリエンテーションをします 必要物品の確認をします 薬剤師が内服薬の確認に伺います ＜必要物品＞ ストロー付きコップ 歯磨きセット ティッシュ1箱 *手術室の看護師が術前訪問にうかがいます *夕方、麻酔科の医師が診察にうかがいます (お部屋に居てください)	※入れ歯や時計などの 金属類は外してください 手術室は総合診療棟4階です ※家族の方は病棟のデイルーム でお待ち下さい ※病棟を離れる際は、看護師に お知らせ下さい	※手術が終わったら 病棟の観察室へ移動します 手術後、医師より説明があります	問題なければ、手術翌日 午前中までにお部屋に戻ります 水分を多めに摂取して下さい(1日2000ml程度) ※必要時、石こしをしてください (石こし方法については説明します) ※尿の管を抜いた後は、一時的に頻尿になったり、しみたりす ることがあります			退院前に薬剤師が内服薬の確認を 行います 退院前に看護師が退院後の生活の 注意点について説明します 退院後、発熱や尿の出にくさが みられた際には、泌尿器外来に ご連絡ください。 (平日 8:30～16:00) 泌尿器科外来:(代表)0942-35-3311 (休日・夜間) 泌尿器科病棟:(直通)0942-31-7675

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2:入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 泌尿器科 西棟7階病棟

2023年6月改訂